

病院内にサテライト研究室 第一線で活躍する薬剤師養成へ



岐阜市民病院立派副院長・特任教授(左)、
館津教授



岐阜市民病院内に設置された健康医療薬学研究所

「健康医療薬学研究室」

抗癌剤や多剤服用に焦点

岐阜市民病院 岐阜市民病院 院内に設置された「健康医療薬学研究室」の特任教授館津氏は、医師をはじめ、薬剤師やホリファーマシー・薬局を巡り、患者の薬の服用状況を把握し、薬の相互作用や副作用を調べたり、これらに基づいて患者さんに適切な薬の処方や服用方法をアドバイスする役割を担う。

「健康医療薬学研究室」の設置は、市民病院が「市民の健康を守る」という使命を遂げる上で、重要な役割を果たす。市民病院は、市民の健康を守る上で、重要な役割を果たす。市民病院は、市民の健康を守る上で、重要な役割を果たす。

岐阜薬大 臨床教育を強化

岐阜薬科大学は、薬学生に対する臨床教育を充実させるため、岐阜大学医学部附属病院と共同で岐阜市民病院に「サテライト研究室」を設置し、臨床教育を強化する。研究室内には、薬学と臨床の両面から学ぶことができる。また、市民病院の医師や薬剤師と共同で研究を行うことで、最新の臨床現場での学びが可能になる。この取り組みにより、薬学生の臨床スキルが向上し、将来の医療現場で活躍できる人材を育成する。また、市民病院の医療水準の向上にも貢献する。この取り組みは、市民病院と岐阜薬科大学の連携をさらに強化する一歩となる。

岐阜薬大は、岐阜市民病院と共同で「サテライト研究室」を設置し、臨床教育を強化する。研究室内には、薬学と臨床の両面から学ぶことができる。また、市民病院の医師や薬剤師と共同で研究を行うことで、最新の臨床現場での学びが可能になる。この取り組みにより、薬学生の臨床スキルが向上し、将来の医療現場で活躍できる人材を育成する。また、市民病院の医療水準の向上にも貢献する。この取り組みは、市民病院と岐阜薬科大学の連携をさらに強化する一歩となる。

「先端医療薬学研究室」 医学生との共同研究に意義

岐阜大学病院



岐阜大学病院鈴木薬劑部長・特任教授(左)、小林講師(右)

岐阜大学の先端医療薬学研究室は、市民病院と共同で研究を行うことで、最新の臨床現場での学びが可能になる。この取り組みにより、薬学生の臨床スキルが向上し、将来の医療現場で活躍できる人材を育成する。また、市民病院の医療水準の向上にも貢献する。この取り組みは、市民病院と岐阜薬科大学の連携をさらに強化する一歩となる。

「先端医療薬学研究室」の設置は、市民病院が「市民の健康を守る」という使命を遂げる上で、重要な役割を果たす。市民病院は、市民の健康を守る上で、重要な役割を果たす。市民病院は、市民の健康を守る上で、重要な役割を果たす。

市民病院と共同で研究を行うことで、最新の臨床現場での学びが可能になる。この取り組みにより、薬学生の臨床スキルが向上し、将来の医療現場で活躍できる人材を育成する。また、市民病院の医療水準の向上にも貢献する。この取り組みは、市民病院と岐阜薬科大学の連携をさらに強化する一歩となる。

「先端医療薬学研究室」の設置は、市民病院が「市民の健康を守る」という使命を遂げる上で、重要な役割を果たす。市民病院は、市民の健康を守る上で、重要な役割を果たす。市民病院は、市民の健康を守る上で、重要な役割を果たす。

「サテライト研究室」は、市民病院と共同で研究を行うことで、最新の臨床現場での学びが可能になる。この取り組みにより、薬学生の臨床スキルが向上し、将来の医療現場で活躍できる人材を育成する。また、市民病院の医療水準の向上にも貢献する。この取り組みは、市民病院と岐阜薬科大学の連携をさらに強化する一歩となる。

「先端医療薬学研究室」の設置は、市民病院が「市民の健康を守る」という使命を遂げる上で、重要な役割を果たす。市民病院は、市民の健康を守る上で、重要な役割を果たす。市民病院は、市民の健康を守る上で、重要な役割を果たす。